

令和元年度 学校評価実施報告書

学校番号 53 学校名 千葉県立松戸馬橋高等学校 課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①今年度はホームページの更新を180回行った(前年度140回)。更新には、12名の職員が関わって情報発信し、教育活動に係る情報を発信できている。</p> <p>②ボランティア清掃を実施し、260名の生徒が自発的に参加した。今年度も学習ボランティア活動を実施し、小中学校併せて8日間延べ135人が参加した(昨年度は延べ5日間76人)。その他、特養老人ホームでのミニコンサート(吹奏楽部・合唱部)、小学校・地域住民・松戸市との合同での花植えボランティア活動、市内夏祭り運営補助、近隣センターの行事等、地域との触れ合いや貢献活動を行うことができた。</p> <p>③予定された以外の職員会議、連絡調整会は実施しなかった。勤務時間を超えての職員会議は1度もなかった。分掌会議を時間割に組み込むなどの工夫を行った。5月以降、全職員の出退勤状況を把握した。目標申告シートに業務改善に向けた取組を記入する職員が増えた。</p>	<p>①今年度、ホームページの移行を行い、多くの職員が使いやすい仕組みに整えた。次年度はさらに多くの職員が積極的に関わるよう協力を促し、これまで更新回数の少なかったページの更新を進めていく。保護者や地域からは学校の様子がわかりにくいという意見もあり、今後はホームページだけに頼らない情報発信にも取り組む。</p> <p>②学校行事として行っているボランティア活動は参加者も増え充実したものになっている。学習ボランティアは、生徒の自己肯定感を高める一助となっている。さらに多くの生徒が自主的・日常的に地域に貢献できる活動を行っていけるように係を中心に企画・運営をしていく。</p> <p>③引き続き、会議や議題の精選を行い、会議にかける時間を減らしていく。研修会についても極力、他の会議や研修と合わせて行うことにより、実施回数や総時間数の減少に取り組む。</p>
学習指導	<p>①9月に生徒による学校評価アンケートを実施した。「わかりやすい授業をしているか」の肯定的評価は84.7%で、目標の85%には達しなかった。6月と12月に、生徒による授業評価アンケートを実施した。授業に対する満足度は90%であった。</p> <p>②第1学年と第2学年において毎朝10分間の朝学習を実施した。参加率は、第1学年は97%、第2学年は53%だった。学びの基礎診断ツールを2回実施した。上位層の生徒も始めている。</p> <p>③5月と11月に授業公開を行い、延べ50人の参加があった(昨年度45人)。小・中・特別支援学校の授業参観等に10名の職員が参加した(昨年度10名)。</p> <p>④研究授業は11名が実施し(昨年度12名)、参観者は延べ73名であった。他校の研究授業に延べ8名が参加した。学校として動画研修サービスに登録し、職員が隙間時間を活用して研修に取り組んだ。</p>	<p>①各教科でアクティビティを取り入れた授業を模索している。次年度は小中学校の授業見学を積極的に行うなどして、よりわかりやすい授業を行えるよう学校全体で取り組む。</p> <p>②第1学年と第2学年において、学び直しと基礎・基本の定着を目指した朝学習を実施し、遅刻の減少など学習面と合わせた効果が出た。上位層の生徒もいるので、この生徒たちを伸ばすために動画視聴等の新しいツールの導入を決定した。</p> <p>③近隣小中学校への授業参観のほか、生徒による小中学校学習ボランティアに多くの職員が引率した。日頃から相互授業参観を積極的に実施するよう職員に促し、授業力の向上に努める。</p> <p>④引き続き校内研究授業を実施していくとともに、他校の授業参観にも積極的に参加し、先進的な授業法等を導入させる。</p>
生徒指導	<p>①毎学期の遅刻防止キャンペーン、挨拶運動、毎日の登下校指導、保護者によるマナーキャンペーンと遅刻防止に取り組んだ。朝学習との連動で良い効果がでていく。遅刻者数は、1学期は1日20人以下の目標を達成する日が多かったが、2学期以降の増加をどう食い止めるかが課題となる。地域による学校評価「生活指導はきちんとされているか」の肯定的評価は84.6%で目標の90%には達しなかった。</p> <p>②生徒会の自主的活動が充実してきた。部活動加入率は66.6%で例年と変わらなかった。生徒会活動や部活動に関する学校評価の肯定的評価の割合は横ばいである。</p> <p>③学校生活アンケートを3回実施した。相談支援の必要な生徒の洗い出しに役立っている。個別面談を2回実施した。スクールカウンセラーとの面談生徒は48名で、カンファレンスを毎回実施している。</p> <p>④道徳に関する研究授業を3回行った。特別支援教育に関する全校生徒向け講演会及び職員研修を実施した。いじめ防止対策委員会を開催し、早期対応に努めた。</p>	<p>①遅刻を減らすための学年指導は年間を通してしっかりと行われている。保護者との連携を強化し、2学期から徐々に増加する傾向に歯止めをかけたい。通学マナー等で地域から御意見をいただくことがある。通学路指導の回数を増やし、通学マナーの向上に取り組む。</p> <p>②生徒会の活動が充実し、様々な行事にその効果が出ている。また、校外での活躍も目立っている。部活動については文化系、体育系とも活性化しており大会等での活躍も目立つ。次年度は加入率の増加とともに大会結果のさらなる向上を目指す。</p> <p>③カンファレンスは有効に活用されているため次年度も継続して実施する。スクールカウンセラーへの相談数が多いので次年度も配置を要請する。</p> <p>④次年度の「通級」設置に向け、道徳の授業の充実を図るとともに、人権意識を育む講演会や職員研修を今年度と同様に実施する。</p>
キャリア教育	<p>①年20回延べ24名のキャリアカウンセラーが来校した。生徒による学校評価の「進路情報提供、進路相談が丁寧に行われているか」の肯定的評価は87.2%であった。</p> <p>②外部人材を活用した進路説明会等を12回実施した。全生徒が少なくとも3回は参加している。校外への進路先見学バス研修ツアーを実施した。就職については決定率100%となった。</p>	<p>①キャリアカウンセラーによる面接指導や進路相談会は効果があるため、学年の早い段階での活用を促したい。公務員希望者の勉強会や進学補習の講座数を増やしていく。</p> <p>②今後も外部講師を有効に活用し進路ガイダンスを実施していく。生徒の進路先が多様なため、バランスに配慮した情報提供や個別の情報提供を行っていく。</p>
教育特色活動	<p>①オーストラリアへの短期留学に12名の生徒が参加した。全校集会で成果発表を行うとともに、1000か所ミニ集会や大学主催の体験発表会でも発表した。</p> <p>②台湾高校生との交流会(5月)や外部講師による韓国語講座(年16回開講18名参加)等の実施による国際理解教育に取り組んだ(昨年度は年10回22名の参加)。</p>	<p>①オーストラリアとの交流は生徒の関心も高い。来年度は受入れの年となるので、体制を整え充実した交流になるよう準備したい。</p> <p>②韓国語講座は昨年度より6回多く実施できた。来年度もさらに上達を目指す生徒に対応できるよう開講回数を増やす予定である。</p>

学校評価の公表について (手段・時期・内容等)	3月に保護者あてに通知するとともに、ホームページ上にアップする。
----------------------------	----------------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善方策)
学校経営	<p>①配付物等がきちんと保護者に届かない家庭もある。ホームページにより学校が活性化している様子はわかるが、行事予定やその他の基本情報を載せるなどしてはどうか。ホームページによる情報発信だけでなく、小中学校のように地域の回覧板や掲示板を活用してはどうか。</p> <p>②生徒の地域での活躍が顕著である。地域の祭り、近隣センター行事、近隣施設でのミニコンサート等とてもありがたい。小中学校での学習ボランティアも大変好評である。</p> <p>③業務改善は進みつつあるがまだ不十分である。部活動やボランティア活動が盛んな学校なので、その良さを保ちつつ業務改善にも取り組んでほしい。</p>	<p>①ホームページについては、掲載すべき内容を精査しながら、リアルタイムで情報発信できるよう充実を図る。地域への情報発信として、小中学校の好事例を参考に町内会等との連携を図りたい。</p> <p>②地域における有用な人材としての期待に応えたい。今年度実施している取組を継続しつつ、関わる生徒を増やして、ボランティア活動の裾野を広げていく。</p> <p>③教材や分掌資料をデータ化し、全職員で共有することにより事務負担を減らしていく。部活動顧問の複数担当制を実施しているが、今後はそれをうまく活用し交替で休める体制づくりをしていく。</p>
学習指導	<p>①学習については集中できていない生徒も見られる。先生方が様々な工夫をして授業改善していることがわかった。</p> <p>②家庭学習習慣が定着していない生徒が多い。基礎学力向上が課題である。</p> <p>③授業参観は、人数が増えないのが残念である。保護者の学習に関する評価が上がってこないのは学校の様子を知らないからなのではないか。</p> <p>④小中連携で授業研究を行っているが、異校種の授業を見ることはとても参考になる。隣接する小中高3校相互の授業参観は、授業改善に大いに役立っている。</p>	<p>①全教科で生徒の主体的活動を取り入れた授業が展開できるよう職員研修の充実を図る。</p> <p>②基礎・基本の確実な定着のために、毎日の朝学習を学校として推進したことは効果があった。次年度、PDCAサイクルがうまく機能するような教材を準備し、基礎学習から発展的学習までカバーしていく。</p> <p>③来校した保護者からは学習に関しても肯定的なコメントをいただくことが多い。次年度は授業参観の周知を更に行い、保護者の参加を増やしたい。</p> <p>④授業研究の際は小中高で連絡を取り合い、職員の参加を促す。アクティブラーニング等の研修プログラムを継続登録し、更なる活用を促したい。</p>
生徒指導	<p>①登校時に正門に先生が立ち、生徒一人一人に指導されている光景には頭が下がる。自転車の乗り方については本人の安全のためにも丁寧な指導をお願いしたい。</p> <p>②学校行事の取組が素晴らしい。関東大会出場等部活動の活躍が顕著である。</p> <p>③スクールカウンセラーが定期的に勤務し、相談体制が整っていることは有難いことである。</p> <p>④保護者による評価の「お子様は友人との人間関係がうまくいっていると思いますか」の肯定的評価が前年度よりアップしていることが素晴らしい。</p>	<p>①生徒による遅刻防止キャンペーンや挨拶運動、PTAによるマナーキャンペーンなど、これまでの活動を継続させることにより保護者や地域から見た生徒の様子の改善につなげていく。</p> <p>②生徒会活動をさらに充実させ、生徒主体で行事を実施できるよう指導體制を整えていく。新入生には極力部活動に入るよう促していく。</p> <p>③本校の教育相談は有効に機能している。今後も組織的に円滑な業務が継続実施できる体制を作っていく。</p> <p>④今後も生徒指導の機能を活かした指導を継続するとともに、人権感覚の醸成を目指した行事を取り入れていく。</p>
キャリア教育	<p>①キャリアカウンセラーなど、外部人材を活用した取組はとても良い。地域の人材ももっと活用した方がよい。</p> <p>②就職希望者の決定率が上昇していることは評価できる。早い段階での意識づけが必要である。</p>	<p>①今後も外部人材を積極的に活用していく。インターシップ保育を実施したが参加者が少なかった。次年度は周知を徹底し参加者を増やしたい。</p> <p>②進路希望が多様化している。それぞれに必要な情報が的確に伝わるよう職員研修を充実させる。</p>
特色ある教育活動	<p>①オーストラリアへの短期留学は生徒にとって貴重な体験になる。ぜひ、継続してほしい。</p> <p>②韓国語講座や文化理解の授業、台湾の高校生との交流会など国際理解の取組が活発となっている。国際交流は学校の柱の一つである。生徒にとっては貴重な機会となるため今後も推進していただきたい。</p>	<p>①次年度はオーストラリアからの受入れということで準備を進めている。全生徒が興味を持つような企画を進めたい。</p> <p>②韓国語講座は意欲ある生徒に好評である。次年度も実施予定であるが、今後はさらに質の向上を図りたい。</p>